

取組事例 多文化共生のまちづくりと地域特性を活かした教育の取組 (倶知安町)

倶知安町では、外国人観光客の増加や海外投資によるコンドミニアム等の建設によって、急速な国際化が進むなか、国際リゾート地として多文化共生のまちづくりを進めていくために町民の英語力向上に向けた英語研修事業を実施している。

関連数値目標・KPI

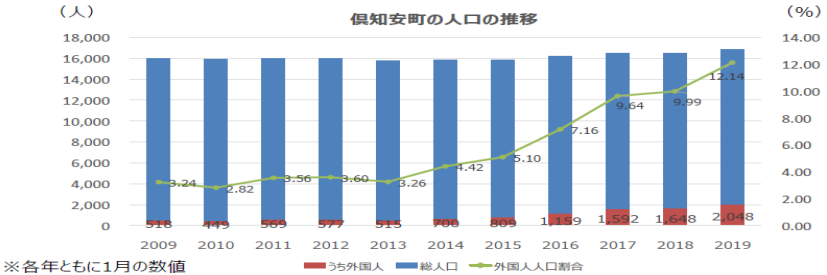
数値目標	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
観光客入込数 (万人)	154	161	170	94.7
外国人観光客宿泊延数(万人)	29	43	35	122.9

取組の推進体制

倶知安町では、役場内に組織された「倶知安町まち・ひと・しごと創生推進本部会議」に加え、産学官金労言及び住民代表からなる「倶知安町まち・ひと・しごと創生有識者会議」を設置し、総合戦略を進めている。

町における外国人人口状況

この10年間の倶知安町の人口は、約1万6千人程度でおおむね横ばい傾向であり、日本人は微減傾向である一方、外国人の割合は増加している。最も外国籍住民が多くなる1月は、人口の10%以上が外国籍住民となる。



(倶知安町役場資料より作成)

取組事例 ～英語への理解向上～

町民向け英語「ことばでつながる」まちづくり事業

○主な取組
町民を対象に一般初級英語にフォーカスし、「聞く」「話す」を研修で、「読む」「書く」を宿題で行う実践トレーニングプログラム。



○主な成果
平成29年度では164人が研修に受講。「大変有意義だった」「有意義だった」、英語への理解が「大変深まった」「深まった」との回答が9割を超えた。受講者はH26 (48人) からH29 (164人) へと増加している。

小中高の英語連携事業「イングリッシュデイキャンプ」

○主な取組
小中高生を対象に、夏・冬の年2回、英語でのプレゼンテーションなどの活動を通して、英会話への関心を高め、楽しく英語に親しむための入口として実施するプログラム。



○主な成果
異年齢間での交流や、オールイングリッシュによる体験活動を通じて、「生きた英語」を体験できるとして、定員を超える申込みがある。

幅広い世代に向けた英語への理解向上のための事業によって、町民の英語への関心、理解が高まってきている。